



久留米商工会議所の概要

所在地	〒830-0022 福岡県久留米市城南町15-5
電話	0942-33-0211 (代表)
FAX	0942-33-0933
e-mail	info@kurume.or.jp
URL	http://www.kurume.or.jp/

商工会議所とは

商工会議所は、地域の商工業者の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための唯一の地域総合経済団体です。

商工会議所の目的

地区内における商工業者の共同社会を基盤とし、商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資し、もってわが国商工業の発展に寄与することを目的としています。

商工会議所の4つの特徴

- ① 「地域性」—地域を基盤としている
- ② 「総合性」—会員はあらゆる業種・業態の商工業者から構成される
- ③ 「公共性」—公益法人として組織や活動などの面で強い公共性を持っている
- ④ 「国際性」—世界各国に商工会議所が組織されている

法的根拠

商工会議所法（昭和28年8月1日公布法律第143号）

沿革

明治32年（1899）	6月	久留米商業会議所設立
昭和3年（1928）	1月	久留米商工会議所に改称
昭和29年（1954）	12月	新商工会議所法に基づき特別認可法人に改組
昭和43年（1968）	4月	久留米商工会館竣工
平成11年（1999）	6月	久留米商工会議所創立100周年
平成21年（2009）	6月	久留米商工会議所創立110周年

規模

地区	久留米市（商工会地区を除く）
事業所数	9,117事業所（平成24年経済センサス活動調査）
小規模事業者数	8,497事業所
会員数	4,534件（平成29年4月1日現在）
組織率	49.7%
年会費	4,000円（1口）
特定商工業者数	1,982件（平成28年4月1日現在）
地区内人口	199,703人（平成26年4月1日現在）

主な役員

会頭	本村 康人	(株)久留米業務サービス	取締役会長
副会頭	橋本 安彦	日商保険コンサルティング(株)	取締役会長
	野田 清一郎	(株)野田清商店	代表取締役社長
	森 光栄一	(株)森光商店	取締役社長
	金子 泰大	金子建設(株)	代表取締役社長
	喜多村 浩司	喜多村石油(株)	代表取締役社長
専務理事	穴見 英三		

◇地域振興活動

地域経済の発展のため、まちづくり、中心市街地活性化や観光事業支援など地域振興にも積極的に取り組んでいます。

財 政

平成30年度予算（単位：千円）

収 入		支 出	
会 費	80,000	事 業 費	125,070
特商負担金	4,140	人 件 費	188,180
補 助 金	146,760	運 営 費	67,250
事業収入他	134,380	繰 出 金	36,400
繰 入 金	36,980	積 立 金	10,000
前期繰越金	139,150	次期繰越金	114,510
合 計	541,410	合 計	541,410

商工会館概要

土 地 1,595.12 m² (483.37 坪)
建 物 名称 久留米商工会館
構造 地上5階建、鉄筋コンクリート
竣工 昭和43年4月30日
建物面積 906.86 m² (274.81 坪)
延床面積 4,446.54 m² (1,347.44 坪)

所属団体

日本商工会議所（全国515商工会議所 125万会員）
九州商工会議所連合会（78商工会議所・8県連合会）
福岡県商工会議所連合会（県下19商工会議所）
九州中部商工連合会（有明海沿岸を中心とした15商工会議所・13商工会）

姉妹商工会議所

郡山商工会議所（福島県 平成17年11月締結）

関係団体

久留米商工会議所税務相談所、中心市街地活性化協議会、
新市くるめづくり市民の会、(株)ハイマート久留米、
くるめ水の祭典振興会、久留米発明振興会、久留米繊維卸商協会、
久留米見本市協会、久留米芸能協会、久留米自衛隊協力会、有馬押太鼓保存会、
久留米雇用対策協会、久留米青色申告会、筑後うどん振興会、
くるめ名物菓子づくり会、筑後川堤防道路整備促進期成会、
筑後川活用観光開発事業実行委員会、文化街地区発展期成会、

久留米市の概要

面積 229.84km²

総人口 305,581人（平成30年4月1日現在）

世帯数 133,555（世帯（同上））

事業所数 13,752事業所（平成24年経済センサス活動調査）

（商業） 4,125事業所 販売額 9,138億円（平成19年商業統計調査）

（工業） 465事業所 出荷額 2,904億円（平成22年工業統計調査）

産 業

◇ゴム産業

ブリヂストン、アサヒシューズ、ムーンスターと、日本を代表するゴム関連会社があります。

◇バイオテクノロジー

生物の持つ働きを活用したバイオテクノロジー、この技術を活かす研究機関や会社を集め、新産業を起こす計画の福岡バイオバレープロジェクト。この中心地が本市で、久留米アジアバイオ特区が国の構造改革特区に認定されています。

◇商 業

21万石の城下町として、また3号線など5本の国道、九州新幹線、JR鹿児島本線、久大本線、西鉄天神大牟田線、九州自動車縦貫道など福岡県南地域の交通の要衝として発展してきた本市は商都としても栄えてきました。

◇農 業

豊富な水量を誇る筑後川と緑豊かな耳納連山に育まれた筑後平野の肥沃な大地と温暖な気候に恵まれ、野菜、種苗・苗木、畜産、花き、果実などの農産物を生産する北部九州最大の農業生産都市です。

伝統工芸品

◇久留米緋

久留米緋は、木綿織りの名手であった井上伝が、考案したものです。素朴な風合いで多くの人に親しまれ、昭和32年に国の重要無形文化財に、また昭和51年には通産省の伝統的工芸品に指定されています。

◇藍胎漆器

久留米緋と並ぶ伝統工芸品、薄い竹ひごを編んで作った竹細工に繰り返し漆を塗って固め、その漆を研ぎ出し編み目を浮き立たせています。藍胎漆器は元久留米藩御塗師の川崎峰次郎が創始したものです。

特産品

◇銘 酒

筑後平野と筑後川をふところに抱く久留米は、米どころであると同時に酒どころでもあり、市内に17の蔵元があります。上質な米と清らかな水から生まれる銘酒は、筑後川流域の特産品です。

◇ゴム製品

ゴム産業発祥の地として知られる久留米には、日本を代表するゴム関連会社があり、タイヤを中心として、ゴム関連の生産分野で世界的な活躍を見せています。

◇久留米ラーメン

全国的にも有名な豚骨ラーメン。久留米は、その発祥地として知られています。

◇農産物

豊穡な大地の恵みを受けて久留米の農産物粗生産額は県内一です。

◇久留米つつじ

久留米の代表的な花であり、「クルメアザレア」の名で世界的にも有名です。

◇久留米つばき

多様な品種の供給産地であり、苗木生産量は全国有数を誇っています。

人 物

【産 業】

- ◇田中 久重 (東洋のエジソン、からくり儀右衛門の名で知られる東芝の創始者)
- ◇井上 伝 (久留米餅の始祖)
- ◇石橋 正二郎 (ブリヂストンの創業者)

【芸 術】

- ◇青木 繁 (1882～1911、洋画家)
- ◇坂本 繁二郎 (1882～1969、洋画家)
- ◇古賀 春江 (1895～1933、洋画家)

【芸能・スポーツ】

- ◇鮎川 誠 (ミュージシャン)
- ◇石橋 凌 (ミュージシャン、俳優)
- ◇藤井 フミヤ (ミュージシャン)
- ◇中野 浩一 (元競輪選手、タレント)
- ◇松田 聖子 (歌手)
- ◇田中 麗奈 (俳優)
- ◇吉田 羊 (俳優)
- ◇家入 レオ (シンガーソングライター)

主な行事

1/7	鬼夜 (玉垂宮)	8/3～8/5	くるめ水の祭典
春分の日	くるめ宝恵祭り	8/5	筑後川花火大会
4/5～5/5	久留米つつじまつり	8/5～8/7	水天宮夏大祭
4月中旬	久留米つつじマーチ	9月	焼き鳥フェスタ
5/3～5/7	水天宮春大祭	11月～1月	くるめ光の祭典 「ほとめきファンタジー」